

# 平成28年度 算数数学教育研究会 夏期研修会報告

諏訪算数数学教育研究会

(諏訪教育会算数数学委員会) 共催

- 1 実施日時 平成28年7月28日(木) 29(金)
- 2 参加者 教育会会員 30名 (研究会員30名)  
一般の方(会員以外) 3名 計33名 (2日間のべ48名)
- 3 実施内容

## ① 月例研修 中2になって模擬授業

岡谷北部中学校植松宗也先生による「一次関数」の模擬授業を行いました。みんな中2になりました。OBで一般参加の赤羽昭光先生は「表はどこからかくの？」と70才近く若返って疑問を投げかけました。植松航一朗先生からは、時代が私達に求めていることを、学習指導要領の解説などを紹介し、指導して頂きました。



## ② 単元テストを作ってみよう

長野県の算数数学教育研究会で、各紙会協力して単元テストを作ってみようと提案されました。思考力を問う問題を考えるのは難しくもあり、楽しくもありました。

## ③ 県算数数学教育研究会 県大会 提出レポート検討

富士見中学校と境小学校の実践を県大会のレポートとしてまとめるために、参加者で検討を行いました。11月の発表で活発な意見が出そうな提案性のあるレポートでした。



## ④ サイコロトーク

サイコロの出た目の話題をするコーナー。諏訪西中学校の小羽石先生が「よく行く店は?」「失敗した授業」などの用意し、若い先生たちも同じ目線でたのしく会話をしました。先輩たちの失敗談は親近感を湧かせ、若い先生たちの失敗談は教育の本質を問い直すきっかけにもなりました。

## ⑤ 講演会 講師：根本 博先生(茨城大学教授)

### 演題 これからの算数・数学教育～ 振り返って次の学びにつなげる～

昨年に引き続き、茨城大学の根本博先生から、算数数学の授業改善に向けて、全国的な視点からのお話を聞くことができました。出てきた結果の意味や価値を見つけ、「ここから何が言えるか?」「ここをこうしてみたらどうか」など、連続的な追究をするビジョンをもつことができました。



## ⑥ 教育課程研究協議会・冬の研修会 算数数学科 指導案検討

教育課程研究協議会の算数・数学科の会場校である豊田小学校・永明中学校、南信三郡大会が予定されている玉川小学校、東部中学校の先生に参加いただき、指導案の検討、教材化について意見の交換をしました。

## 4 反省

- ・ 模擬授業をした植松先生は「教科指導に対する気持ちが大きく変わりました」と授業後に伝えて頂きました。生徒役の先生たちも教科指導に対する気持ちが引き締められました。若い先生方の提案や発言により、活発な意見交換ができました。

- ・ 涼しい環境の中で，集中して盛りだくさんの研修をすることができました。